



Messiah

Georg Friedrich Händel



since 1886

FUKUOKA JO GAKUIN 2015.12.22(Tue)

Hallelujah! for the Lord God omnipotent reigneth. The Kingdom of this world is become the Kingdom of our Lord, and of His Christ, and He shall reign for ever and ever. King of Kings, and Lord of Lords. Hallelujah!
[Revelation 19:6 11:15 19:16]



福岡女学院創立130周年記念

クリスマスコンサート「第33回 メサイア」

日時 2015年12月22日(火) 開場 / 18:00 開演 / 18:30

会場 アクロス福岡シンフォニーホール

チケット 3,000円【全席自由席】

指揮 / 鈴木 優人

ソリスト / 江田 雅子 [ソプラノ]
青木 洋也 [カウンター・テノール]
中嶋 克彦 [テノール]
加来 徹 [バリトン]

管弦楽 / 福岡女学院メサイアオーケストラ

コンサート / 岡本 誠司

プログラム / 「メサイア」より

第1部全曲、第2部、第3部より抜粋

合唱 / 福岡女学院合唱団
西南シャントウール
九大コールアカデミー 他

チケットぴあ Pコード:275-067

ローソンチケット Lコード:88484

アクロス福岡チケットセンター(2階) Tel.092-725-9112

福岡女学院

主催 / 学校法人 福岡女学院 TEL:092-581-1492(本部総務課) <http://www.fukujo.ac.jp/messiah/> E-mail messiah@fukujo.ac.jp

後援 / 福岡市・福岡市教育委員会、春日市教育委員会、大野城市教育委員会、朝日新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社



since 1885

Messiah

Georg Friedrich Handel

福岡女学院創立130周年記念
クリスマスコンサート
「第33回 メサイア」



指揮 | 鈴木 優人

オランダ生まれ。東京藝術大学作曲科及び同大学院古楽科、ハーグ王立音楽院オルガン科及び即興演奏科修了。鍵盤奏者、指揮者としてパッサ・コレギウム・ジャパンをはじめとして国内外の公演に多数出演し、チェンバロソロCD「rentontre」は絶賛される。演出家としては新国立劇場を初めて、調布市音楽祭、九大フィル等の公的機関からの期待も大きい。音楽監督を務めるアンサンブル・ジェネシスでは、オリジナル楽器でバロックから現代音楽までの作品を展開し、NHK制作「アンサンブル・ジェネシス〜光と影〜」が好評を博す。また作曲家としても、J.S. バッハ BWV 190喪失楽章の復元や(Carus)、モーツァルト「レクイエム」の補筆・校訂が高い評価を得る。2015年2月まで横浜シンフォニエッタの首席指揮者を務めた。今年のラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポンではBCJのマタイ受難曲を指揮、大好評を博した。

オフィシャルホームページ <http://suzukimasato.com/>



(C) Frank Hagle

ソプラノ | 江田 雅子

福岡市出身。福岡女学院高等学校音楽科卒業。東京藝術大学音楽学部声楽科、同大学大学院修士課程独唱科を修了。同大学よりアカンサス音楽賞、同声会賞を受賞し、同声会新人演奏会に出演する。大学院在学中に藝大メサイア公演のソリストとしてデビュー。明治安田クオリティオブライフ文化財団の海外音楽研修生としてドイツに留学、2009年ドイツ国立カールスルーエ音楽大学リット科を修了。2009年三菱地所賞を受賞。2010年東京藝術大学音楽大学大学院博士課程独唱科を修了、博士号を取得する。声楽を吉田由布子、故 朝倉蒼生、白井光子、寺谷千枝子、クリスティナ・ヴァルテンベルクの各氏に師事。演奏法をハルトムート・ヘル、コンラート・リヒターの各氏に師事。これまでオペラではバーセル「グイドーとエネアス」、ラヴェル「子供と呪文」、宗教音楽ではバッハ「マタイ受難曲」をはじめとする多数のカンタータ、オラトリオ、ミサ曲等のソリストとして出演している。ベルリン在住。



photo by 藤原栄治

カウター・テノール | 青木 洋也

東京生まれ。ヴァイオリンを学ぶ傍ら、ボーイ・ソプラノとして東京少年少女合唱隊時代より活躍。東京藝術大学大学院で古楽演奏、エリザベト音楽大学大学院で宗教音楽学を学び、在学中より定期的に渡欧して研鑽を積む。宗教音楽を専門とし、J.S. バッハの「マタイ」、《ヨハネ》の両受難曲や、多数のカンタータ、オラトリオやカンタータの独唱をつとめるなど、現在も着実に国内外での活動の場を広げている。パッサ・コレギウム・ジャパンの主要メンバーとして国内外の公演・録音に参加し、2011年ブレーメン音楽祭、2012年ライプツィヒ・パッサ音楽祭および2015年ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポンでの「マタイ受難曲」独唱で喝采を浴びている。2014年2月にリリースしたソロアルバム「イギリス・リュート歌曲」(Regulus)はレコード芸術誌において特選盤に選ばれている。近年は、合唱指揮者としても活躍している。



テノール | 中嶋 克彦

福岡教育大学卒業。東京藝術大学大学院修士課程、博士課程修了。博士号取得。2012年より文化庁在外派遣研修員としてマインツ音楽大学(ドイツ)のバロック声楽コースにて研鑽を積む。13回日本モーツァルト音楽コンクール第2位。これまでに三浦國彦、吉田由布子、橋本エリ子、鈴木寛一、吉田浩之、佐々木典子、アントン・トレムメルの各氏に師事。コンサートや宗教曲のソリストとしての活躍の場を海外に拡げ、昨年はドイツのケーテン・パッサ・フェスティヴァルにアムステルダム・バロック・オーケストラ・合唱団の一員としてトン・コープマンの指揮で参加した。オペラでは、モーツァルト「コシ・ファン・トゥッテ」のフェルランド役でデビュー後、新国立劇場オペラ研修所公演「ブルック」(カルメル会修道女の対話)(司祭)や千住明「隅田川(初演)」(商人)など、様々な公演に出演している。パッサ・コレギウム・ジャパンや声楽アンサンブル「ラ・フォンテヴェルデ」メンバー。



バリトン | 加未 徹

福岡県出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院音楽研究科修士課程独唱科を首席で修了し大学院アカンサス賞受賞。二期会オペラ研究所マスタークラスを総代で修了し、最優秀賞および川崎静子賞受賞。2013「新しい声」国際コンクール、日本人男声初のセミファイナル進出。第20回友愛ドイツリートコンクール第2位。2014年シャネル・ピグマリオン・デイズアーティスト。パッサ・コレギウム・ジャパンメンバー。デビューアルバム「Kaku Toru Debut」(2012)、セカンドアルバム「加未徹×ドイツ歌曲」(2015)をリリース。オラトリオ・コンサートソリストを中心として活躍しているが、オペラでも2014年にはサントリー主催オペラ公演「愛の妙薬」、2015年には二期会ニューウェーブ・オペラ公演にてヘンデル「ジュリオ・チェザレ」、日生劇場オペラ公演「ドン・ジョヴァンニ」にタイトルロールで出演。福岡敬見、勝部太の両氏に師事。フェリス女学院大学非常勤講師。福岡学芸大学嘱託演奏員。二期会会員。
<http://www.kaku-toru.net/>

メサイア公演を前に「メサイア」を弾き、語る

日時 12月21日(月)10時30分~12時

場所 福岡女学院天神サテライト (福岡市中央区天神2-8-38協和ビル9F)

受講料 2,100円 教材費 100円 (別途事務手数料210円)

講師 鈴木 優人氏 (パッサコレギウムジャパンメンバー、アンサンブルジェネシス主宰)

12月22日(火)のメサイアの演奏会の前に、同演奏会の指揮者を務める鈴木優人氏が、「メサイア」の聴きどころを、チェンバロを用いながら解説する注目の講座を、福岡女学院天神サテライトで開催。

作曲家、指揮者であり、オルガン・チェンバロ奏者の鈴木氏は、古楽の演奏家としても卓越した才能を発揮し、世界で活躍中。

申し込み・問合わせ 福岡女学院天神サテライト(FJTs)電話092-715-2718まで